

(仮称) 丸森町水防センターに関する 住民ワークショップ

令和6年5月29日(水)
18:00~
丸森町

■はじめに

令和元年東日本台風災害により甚大な被害を受けた本町では、今後も起こり得る災害に備え、河川管理者である国と連携して「丸森地区河川防災ステーション」の整備を進めています。町では、災害時には、応急復旧の拠点としての機能を担う「水防センター」を整備する計画で、平常時には、令和元年東日本台風災害の伝承や災害に対する防災教育、そして、復旧・復興のシンボルとなる「にぎわいの拠点」として利活用できる施設を目指します

■河川防災ステーションとは

- 河川防災ステーションは、水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を備蓄しておくほか、資材の搬出やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保しています。
- 洪水時には市町村が行う水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧を迅速に行う前線基地となります。
- 平常時には、地域の人々の交流や憩いの場として、また川や防災に関する学習の場、河川を中心とした文化活動の拠点として大いに活用される施設です。

【主な整備のイメージ】

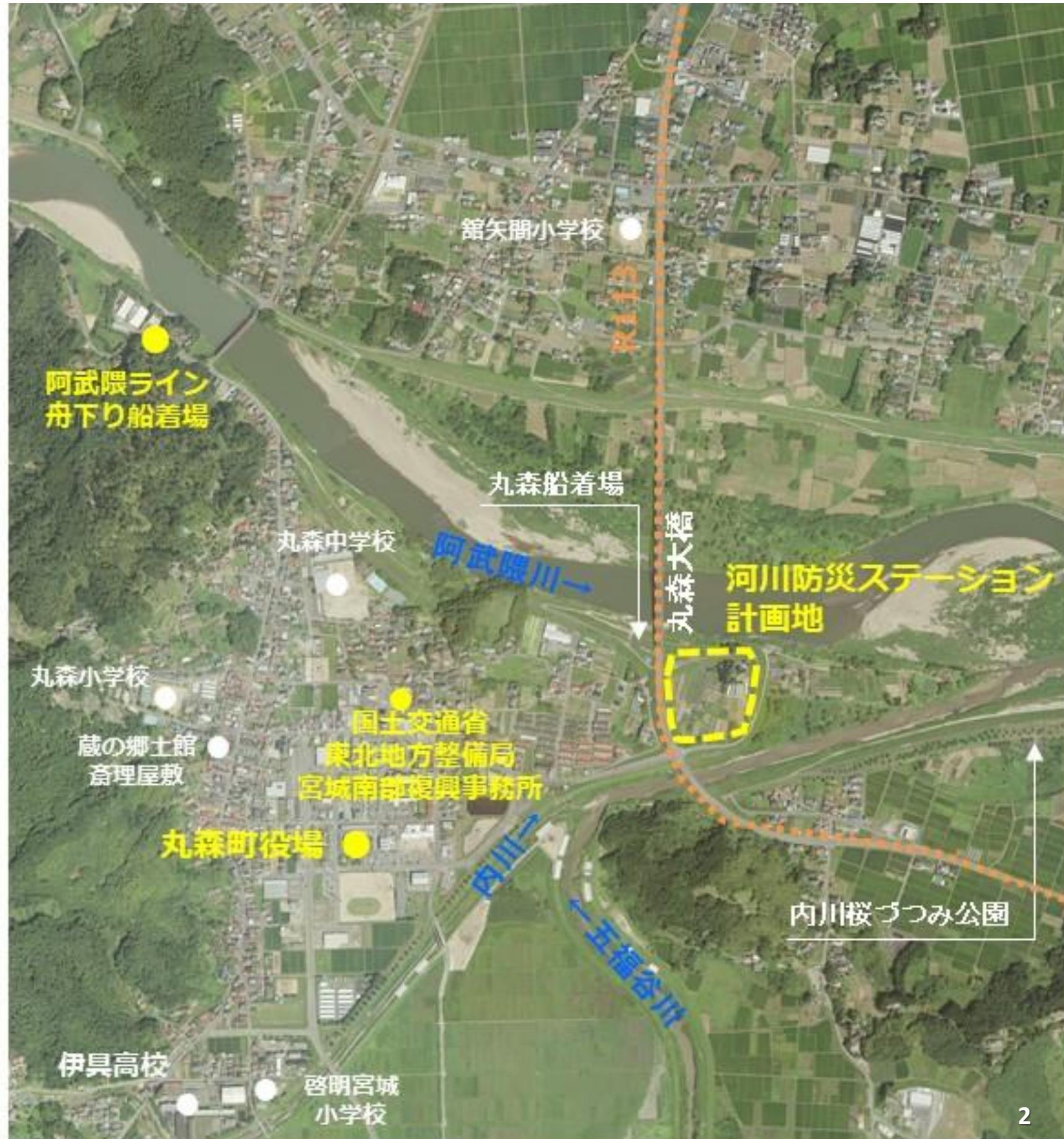


■ 整備する場所

- 阿武隈川と国道113号（緊急輸送道路）に接する丸森大橋の南東に位置し、広域的な災害拠点として活用が可能。
- 緊急消防援助隊や警察災害派遣隊などの活動拠点として有効。

■ 造成概要

- 面積：40 000 m²
- 盛土量：約 27 万m³
- 盛土高：8.7 m（国道 113号と同じ高さ）



■ 検討経過

- ①令和元年東日本台風災害からの復旧・復興を目指し、新たな防災拠点整備を要望
- ②仙台河川国道事務所の助言を受け、河川防災ステーションの検討を開始
- ③河川防災ステーション整備計画の登録（水管理・国土保全局長） 令和3年3月18日

（令和3年度）

- ①丸森地区河川防災ステーションの整備に関する確認書（仙台河川国道事務所長） 令和3年5月12日
- ②丸森地区河川防災ステーション整備・利活用検討委員会設置（丸森町・仙台河川国道事務所）
令和3年11月16日、令和4年1月17日、3月24日
- ③丸森地区河川防災ステーション整備・利活用に関する説明会 令和4年2月17日

（令和4年度）

- ①丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会設置（丸森町） 令和4年6月29日、11月22日
- ②丸森地区河川防災ステーション利活用検討部会設置（丸森町）
令和4年7月20日、8月22日、9月22日、10月14日、令和5年1月30日

（令和5年度）

- ①丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会（丸森町） 令和5年7月31日
- ② // 検討部会（丸森町） 令和5年7月14日、10月2日
- ③令和5年11月 （仮称）丸森町水防センター基本構想・基本の計画 策定
- ④住民説明会の開催 令和5年11月22日

■ 基本理念 (コンセプト)

災害時の防災拠点としての機能とともに、平常時には、町内の観光拠点と連携した町のゲートウェイ（町内周遊拠点）となる、地域交流、憩いの場とします。他の施設と差別化を図り、次のキーワードに関連する利活用のアイデアを実現できる拠点を目指します。

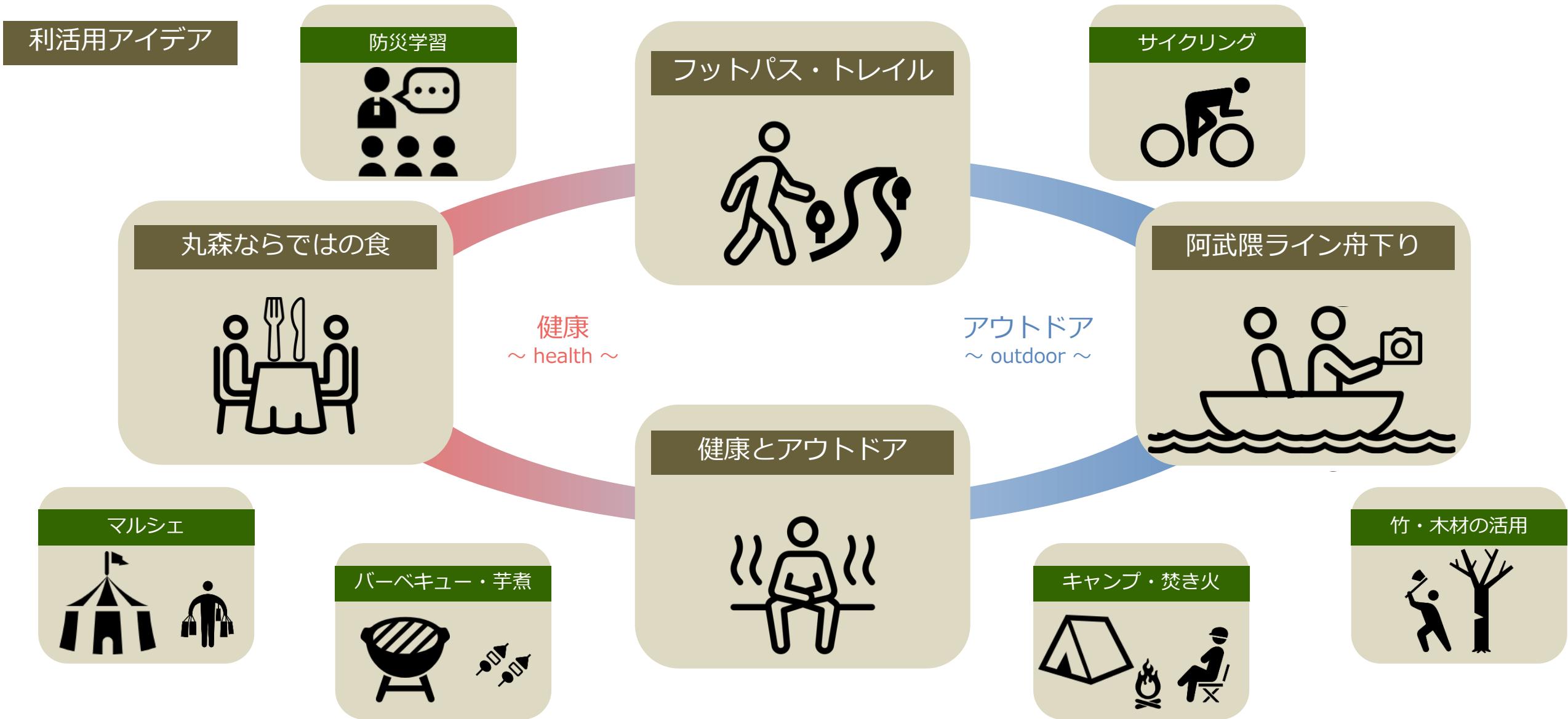
キーワード

健康 ~ health

&

アウトドア ~ outdoor

訪れた人の健康増進に寄与するような野外アクティビティ等、丸森の豊かな自然を活かした利活用を展開する



■ 平常時の利用イメージ

芝生広場

公園・緑地、イベント会場、スポーツ広場としての利用

水防センター・観光交流拠点

- ・ 防災学習の場、観光案内、飲食・物販スペース、阿武隈ライン舟下り、かわみなとフットパス、川風トレイル、サイクリング等の拠点として整備
- ・ 敷地内にバス停を設置し、公共交通で来訪を可能
- ・ 民間事業者による事業展開エリア

川の駅

河川敷公園としての利用

イベント広場

マルシェや軽トラ市等を行えるイベント広場

ポケットパーク

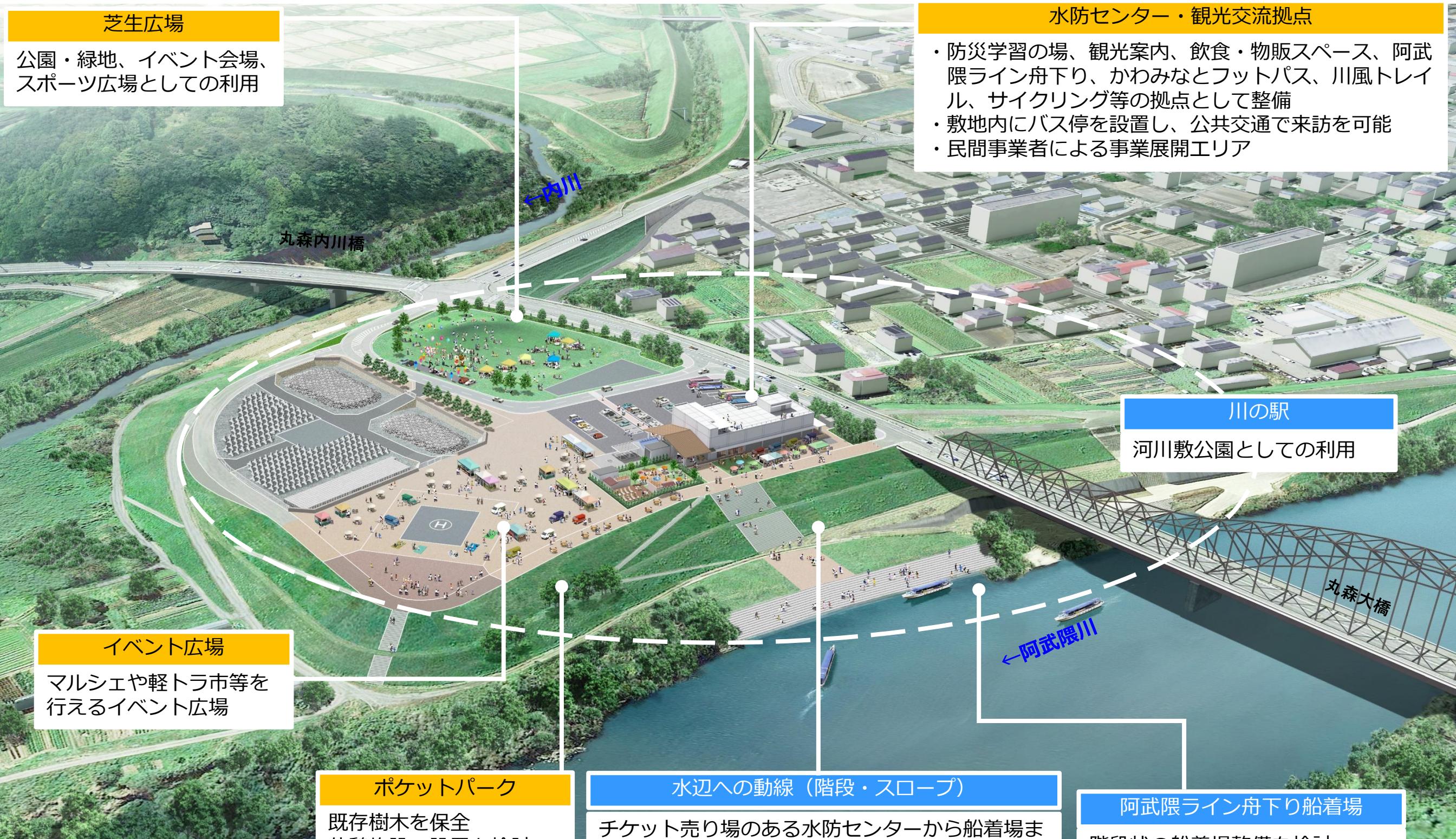
既存樹木を保全
休憩施設の設置を検討

水辺への動線（階段・スロープ）

チケット売り場のある水防センターから船着場まで、階段・バリアフリー対応のスロープを整備

阿武隈ライン舟下り船着場

階段状の船着場整備を検討

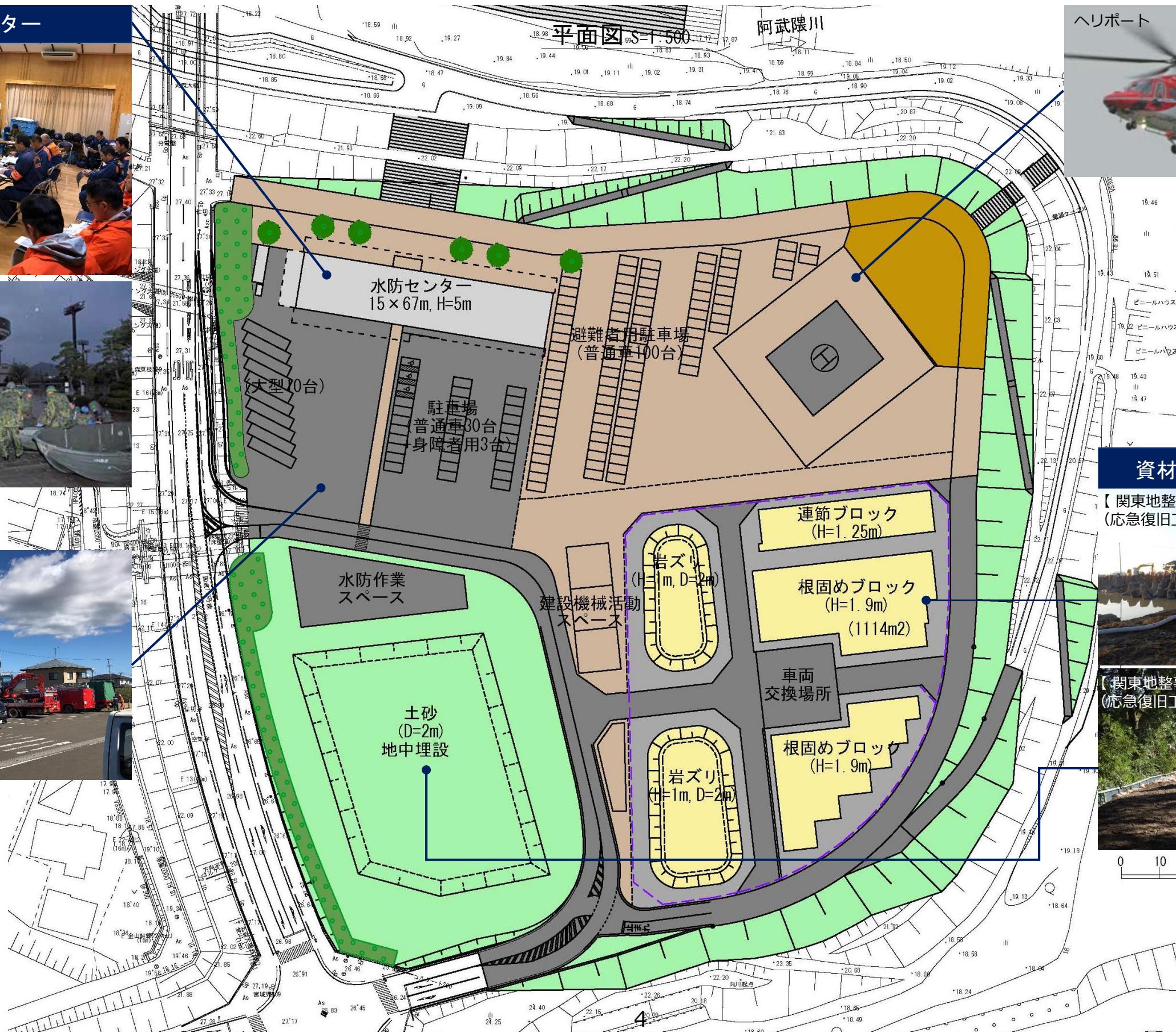


■ 災害時の利用イメージ



■ 施設配置イメージ

水防センター



資材・作業ヤード

【関東地整事例】根固めブロック (応急復旧工事箇所)



【関東地整事例】土砂 (応急復旧工事箇所)



■ (仮称) 丸森町水防センター設計者の選定

1 設計者を選定するプロポーザルを実施

(審査委員会)

役職	氏名	専門分野	所属組織・団体等
委員長	佃 悠	建築計画	東北大学大学院工学研究科 都市・建築専攻 准教授
副委員長	平野 勝也	土木景観	東北大学災害科学国際研究所 災害人文社会研究部門 空間デザイン戦略研究分野 准教授
委員	藤野 高志	建築デザイン	株式会社 生物建築舎 主宰 東北大学大学院工学研究科 都市・建築専攻 准教授
委員	柴山 明寛	防災	東北大学災害科学国際研究所 災害人文社会研究部門 災害文化アーカイブ研究分野 准教授
委員	佐々木 秀之	建築行政	丸森町 副町長

2 1次審査 (令和6年1月29日)

2 1者から応募者があり、提出された提案内容を審査し、5者を選定。



3 2次審査 (令和6年2月16日)

2次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)を公開で実施。



審査結果

提案者名	備考
PHa+石森設計共同体 代表取締役 柿木久美	受託候補者
NHA・中央復建・上條福島設計共同体 代表取締役 橋本尚樹	次点者

4 設計者の決定 (令和6年2月21日)

PHa+石森設計共同体 (宮城県)

代表 株式会社 PERSIMMON HILLS architects

(業務体制)

(株)PERSIMMON HILLS architects (大阪府)

(株)石森建築設計事務所 (宮城県)

合同会社 平岩構造計画 (東京都)

有限会社コモド設備計画 (東京都)

(株)イー・エー・ユー (東京都)

■ 検討部会、ヒアリングの実施

(令和5年度)

①丸森地区河川防災ステーション利活用検討部会（丸森町） 12月25日、令和6年2月2日、3月15日



(令和6年度)

①丸森地区河川防災ステーション利活用検討部会（丸森町） 4月18日、5月8日、5月22日



このほか、町内の関係者（観光、防災等）にヒアリングを実施した。（約50人）

■ 整備スケジュール

事業		年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
防災拠点の整備									
設計	防災拠点(造成、資材)	国	予備設計	詳細設計					
	水防センター	町		基本構想・計画	基本設計・実施設計				
工事	防災拠点(造成、資材)	国		用地確保	盛土工		舗装・排水工 資材配置	河川防災ステーション 利用開始	
	水防センター	町					水防センター建設	水防センター 利用開始	
水防センター等の運営体制検討				運営体制、主体の確立	運営主体の細部調整				
周辺利活用の検討・整備(かわまちづくり)				計画検討	計画策定	登録及び 予算確保	設計	整備工事	周辺施設 利用開始

- ※ 国 : 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
- ※ 町 : 宮城県丸森町